

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【公開番号】特開2014-30538(P2014-30538A)

【公開日】平成26年2月20日 (2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2012-171934(P2012-171934)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月7日 (2016.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定期間中に有利度を変化させることが可能な遊技機であって、

前記所定期間中に、当該所定期間の残り期間を示唆する期間示唆演出を実行する期間示唆演出実行手段と、

前記所定期間中に、第 1 遊技演出と、第 2 遊技演出とを含む複数種類の遊技演出のうちいずれかを実行するものであって、当該第 2 遊技演出を実行しているときの方が当該第 1 遊技演出を実行しているときよりも有利度合いが高くなるように前記遊技演出を実行する遊技演出実行手段と、

前記有利度に基づき、前記遊技演出を前記第 1 遊技演出と前記第 2 遊技演出との間で切換える演出切換手段と、

前記期間示唆演出によって示唆された前記残り期間が特定期間以下であるときには前記演出切換手段による前記遊技演出の切換えを禁止する禁止手段とを備える、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 所定期間（たとえば、スロットマシン 1 における A T、パチンコ遊技機 1 5 0 における時短制御期間）中に有利度（たとえば、スロットマシン 1 における通常 A T と有利 A T によるナビストックの当選確率と付与数の差、パチンコ遊技機 1 5 0 における時短制御期間中の確変状態への制御の有無）を変化させることが可能な遊技機（たとえば、スロットマシン 1、パチンコ遊技機 1 5 0 ）であって、

前記所定期間中に、当該所定期間の残り期間（たとえば、スロットマシン 1 における A T ゲーム数の残りゲーム数、パチンコ遊技機 1 5 0 における特別図柄ゲーム数の残りゲー

ム数)を示唆する期間示唆演出(たとえば、スロットマシン1におけるATゲーム数報知演出、パチンコ遊技機150における特別図柄ゲーム数報知演出)を実行する期間示唆演出実行手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91による処理、パチンコ遊技機150における演出制御用マイクロコンピュータによる処理)と、

前記所定期間中に、第1遊技演出(通常演出)と、第2遊技演出(有利演出)とを含む複数種類の遊技演出(背景演出)のうちいずれかを実行するものであって、当該第2遊技演出を実行しているときの方が当該第1遊技演出を実行しているときよりも有利度合い(たとえば、スロットマシン1における有利ATに制御されている期待値、パチンコ遊技機150における確変状態に制御されている期待値)が高くなるように前記遊技演出を実行する遊技演出実行手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT中演出処理、パチンコ遊技機150における演出制御用マイクロコンピュータによる処理)と、

前記有利度に基づき、前記遊技演出を前記第1遊技演出と前記第2遊技演出との間で切替える演出切替手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT状態抽選処理、パチンコ遊技機150における演出制御用マイクロコンピュータによる処理)と、

前記期間示唆演出によって示唆された前記残り期間が特定期間以下(たとえば、残り5ゲーム以下)であるときには前記演出切替手段による前記遊技演出の切替えを禁止する禁止手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT中演出処理のステップS420、図23、パチンコ遊技機150における演出制御用マイクロコンピュータによる処理、図27)とを備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成によれば、期間示唆演出によって示唆された所定期間の残り期間が特定期間以下であるときには遊技演出の切替えが禁止されるため、所定期間の終盤で有利度合いが異なる遊技演出に切替わることがなく、遊技者に所定期間中の遊技を最後まで満足に消化させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(2) 上記(1)の遊技機において、

前記禁止手段は、前記期間示唆演出によって示唆された前記残り期間が特定期間以下であるときには前記演出切替手段による前記第1遊技演出から前記第2遊技演出への切替え(通常背景から有利背景への切替え)を禁止する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

このような構成によれば、期間示唆演出によって示唆された所定期間の残り期間が特定期間以下であるときには第1遊技演出から有利度合いの高い第2遊技演出への切替えが禁止されるため、所定期間の終盤で有利度合いの高い遊技演出に切替わることがなく、遊技

者に所定期間中の遊技を最後まで満足に消化させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(4) 上記(1)～(3)の遊技機において、

前記期間示唆演出実行手段は、前記期間示唆演出において、前記残り期間が特定期間以下となったこと(たとえば、スロットマシン1におけるAT報知器60の点滅)を示唆する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

(5) 上記(1)～(4)の遊技機において、

前記所定期間に制御するための権利(たとえば、スロットマシン1におけるナビストック)を付与する権利付与手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるナビストック数抽選処理)と、

前記所定期間中に前記権利が有ることを示唆する特定演出(たとえば、スロットマシン1におけるナビストック示唆演出)を実行する特定演出実行手段(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT中演出処理)とをさらに備え、

前記禁止手段は、前記特定演出によって前記権利が有ることが示唆されているときには前記演出切換手段による遊技演出の切換えを禁止し(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT中演出処理のステップS455、図24)、

前記演出切換手段は、前記権利に基づき所定期間が追加制御されたとき(たとえば、スロットマシン1における示唆されたナビストックに基づくATが開始されたとき)に前記遊技演出を切換える(たとえば、スロットマシン1におけるサブ制御部91によるAT中演出処理のステップS460、図24)。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0383

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0383】

なお、図23で示したタイミングチャートでは、通常ATでAT状態抽選に当選すると即座に遊技状態が通常ATから有利ATに変化するとともに予告演出が実行され、その予告演出の実行後に背景演出が通常演出から有利演出に切り替わる。つまり、実際に遊技状態が有利ATに切り替わった後、遅れて背景演出が有利ATに対応したものに切り替わっている。しかしながら、これに代えて、遊技状態が有利ATに切り替わるタイミングに併せて背景演出も有利ATに対応する有利演出に切り替わるようにしてもよい。たとえば、AT状態抽選に当選すると、遊技状態を有利ATに切り換える前に予告演出を実行し、その後、背景演出を有利演出に切り換えるとともに遊技状態を有利ATに切り換えるようにすることが考えられる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0384

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０３８４】

同様に、図２３で示したタイミングチャートでは、有利ＡＴでＡＴ状態抽選に当選すると即座に遊技状態が有利ＡＴから通常ＡＴに変化するとともに予告演出が実行され、その予告演出の実行後に背景演出が有利演出から通常演出に切り替わる。つまり、実際に遊技状態が通常ＡＴに切り替わった後、遅れて背景演出が通常ＡＴに対応したものに切り替わっている。しかしながら、これに代えて、遊技状態が通常ＡＴに切り替わるタイミングに併せて背景演出も通常ＡＴに対応する通常演出に切り替わるようにしてもよい。たとえば、ＡＴ状態抽選に当選すると、遊技状態を通常ＡＴに切り換える前に予告演出を実行し、その後に、背景演出を通常演出に切り換えるとともに遊技状態を通常ＡＴに切り換えるようにすることが考えられる。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０４９０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０４９０】

また、たとえば、第２実施形態に係るパチンコ遊技機１５０であれば、「有利度」は、時短状態を有利度が高く、非時短状態を有利度が低いものであると設定して、時短状態への制御の有無によって有利度を変化させるものであってもよい。